



三浦 芳一 議員

血液がん

Q さらなる骨髓バンクドナー登録の推進を

A 広報・ホームページ等で周知啓発

議員 血液がんには白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫がある。化学療法、放射線療法もあるが、移植を待っている方が多数いる。しかしドナー数が少なく十分な対応ができていないため、さらなる「骨髓バンクドナー」登録の推進を。

福祉部長 広報・ホームページで、また、福祉保健センターの窓口にもパンフレットの設置、献血時にも周知・啓発を図っている。

公共工事の平準化を

議員 少子高齢化、人口減少社会



において地域の人材確保が年々難しくなっている。建設業界の活性化による担い手確保のために公共工事の平準化が必要。債務負担行為とゼロ債務の積極的な活用を。

財務部長 ゼロ債務を含む債務負担行為の設定により、工事の施工時期の平準化が図れることから、積極的な活用に取り組んでいく。

議員 公共工事の柔軟な工期の設定と、速やかな繰り越し手続きを。

財務部長 余裕期間内で発注者が

工事開始日を指定する発注指定方式、受注者が選択する任意着方式・フレックス方式があり、今後研究する。また、繰り越し制度の適切な活用は、早い段階から必要日数を見込み、繰越明許費の設定により平準化に向けた取り組みの一つとして推進していく。



むとう 葉子 議員

Q 大会遠征費補助金の見直しを

A 財政当局と協議し、検討する

議員 市内中学校の部活動における大会遠征費補助金は、上限10万円である。基準の見直しと一人当たりの視点で補助してはどうか。

教育部長 関東大会以上の交通費等が補助対象。教育委員等からの意見があり、今後、財政当局と協議し、基準の見直しや一人当たりの補助の視点についても検討する。

高齢者施設での虐待行為の確認を

議員 ①高齢者施設での虐待通報に対し、市は施設を訪問し、事実確認をしているか②県に報告し、人員基準や設置基準が満たされて

▼市内中学校の部活動の様子



一般質問

3R推進

Q 資源の有効活用とごみ減量化への推進を

A 環境基本計画の改定で検討する

議員 限りある資源の有効活用とごみ減量化へのさらなる推進が必要である。(1)食品ロス削減推進法が施行された。食品ロス削減を①「フードドライブ」の実施は②家庭用・児童生徒用のパンフレットの作成は③ごみ減量化を④「循環型社会」への新たな施策は⑤市のイベントに「リサイクルマーケット」の開催は⑥幼児向け参加型「ごみ減量講座」の実施は。

環境経済部長 (1)①実施に向け検討する②効果的である。検討する

(2)①環境基本計画の改定を進める中で、取り組みを検討する②現在の取り組みを継続していく③関係部局と連携し検討する。

議員 リサイクルマーケットを開催することは、市が積極的に取り組んでいることをアピールする場

手塚 静枝 議員



になる。ぜひ開催の検討を求めます。

高齢者の「ごみ出し支援」を

議員 高齢者の「ごみ出し困難な世帯」が増えている。環境省は、高齢者宅まで出向いて回収を行う「ごみ出し支援」制度の拡充を決めた。①市の制度づくりは②一時的に出される大量ごみ・粗大ごみ等の新たな処理方法の導入は。

福祉部長 ①環境省の調査を参考にし、関係部局と連携し研究する方法は、調査研究していく。



▲フードドライブにより集まったたくさんの食材

台風19号被害

Q さくら川周辺の被害への今後の対策は

A 工事箇所を増やしている

議員 さくら川の被害状況と原因

および護岸工事の進捗状況は。

都市整備部長 3カ所で水があふれ道路冠水、床上床下浸水が発生。記録的豪雨による河川水位の上昇が原因と考える。護岸工事の進捗率は43・6%で順調に進んでいる。

議員 今後の対策については。

都市整備部長 工事箇所を2カ所から3カ所に増やし、予算も1億2千万円増やして整備のスピードアップを図っている。

土屋 英美子 議員



小学生を半額に。

市民生活部長 1000円という、わかりやすく、安価な料金であり、現行の料金を維持していく。

議員 市民の長い間の要望である。意見をよく聞いて実行すべき。

その他の質問

Q 敬老祝金を誕生日に贈呈すべき。

A 敬老の意を表する目的のため今後9月に実施する。

toCoバスの充実を

議員 両周り運行の実施を。

市民生活部長 財政負担が大きく、一方通行やすれ違いが難しい箇所を走行していることから困難。

議員 高齢者・障がい者のtoCoバス料金を無料にするとともに、



▲台風による大雨で増水したさくら川